

佐野市成人式

1月10日、市内3つの会場で、佐野市成人式が行われました。

今回、新成人を迎えたのは約1,200人。

佐野会場では岡部市長や篠原市議会議長から「佐野市の今後の発展と一緒に取り組みましょう」との言葉を贈られると、新成人を代表した杉山奈穂さんは「成人の自覚を持って、社会に貢献していきましょう」と会場に呼びかけました。

田沼会場では、山口巧一郎さんが、これまで支えくれた方への感謝と「今まで支えていただいた部分を少しでも恩返しできるよう努力し、強く優しい人になれるよう精進してまいります」と話しました。

また葛生会場では、大澤将人さんから「この佐野市で育ち成長させていただいたことに感謝し、これから出会う人々との関わりを大切にし 日々精進してまいります」との言葉がありました。

新成人を迎えられた皆さん、おめでとうございます。



田中正造記念賞

佐野市では「田中正造記念賞」として、「環境問題の先駆者としての田中正造翁」の偉業を称え、環境対策や自然環境保護活動に積極的に取り組み、顕著な成果を挙げた団体を表彰しています。



今年度、佐野市長賞に選ばれたのは、石川県小松市の「^{きばがた}木場潟を美しくする会」。この団体は、1万人以上の会員により加賀三湖の一つで、自然の姿が残されている木場潟の環境美化・水質改善の取り組みを34年間続けています。

また、奨励賞に選ばれたのは長野県松本市の「庄内ほたと水辺の会」。この団体は、さまざまな自然保護活動によりホタルを自然発生させ、豊かな自然を将来まで残すための活動を行っています。

受賞された「木場潟を美しくする会」の代表の山本さんは「環境問題の先駆者正造翁の名に恥じぬ活動を続けて行きたい」と話していました。

第66回県南5市対抗親善駅伝大会



1月11日に、足利から小山までの10区間45.9キロで開催されました。

足利・佐野・栃木・

小山・真岡の各市からそれぞれ2チーム出場し、2チームの合計タイムで順位が決まるこの大会。

各チーム中学生以上の男女で構成されており、佐野市では城東中学校の樋口翔太くんが2区で区間賞を獲得したものの、Aチーム6位・Bチーム9位の総合4位でした。



「太陽と岩山」
を探しに

新庁舎の南側エントランスにある名古屋芸術大学名誉教授の高橋久雄さんが描いたフレスコ画『太陽と岩山』。この絵は唐沢山がモチーフになっているそうです。

唐沢山は地元・栃本小学校の校歌に『♪唐沢山の深緑〜♪』とあるように緑の松のイメージがあると思います。しかし、唐沢山に登ってみると、フレスコ画のイメージにピッタリ合う場所を見つけることができました。その場所は大陰山とも例えられている「天狗岩」です。



天狗岩からの眺望を楽しみながら、神々しく登る朝日を想像してみてください。新庁舎にあるフレスコ画そのものです。
(市民記者・中里聖子)

救助協力者へ
感謝状

山で滑落した方の救助に協力したとして、馬渡純一さん(館林市)、横塚尚祀さん、影山喜三さん、影山滋さん(作原町)の4人に消防長から感謝状が送られました。※影山滋さんは欠席

11月、家族で登山に来た馬渡さんは、三滝付近で滑落し、両腕を骨折した女性を発見。携帯電話が通じない地域であることから、電話の通じる蓬山口グビレッジまで下りてくると通報のうえ、道案内のため再度山に戻りました。また、横塚さん、影山さんは要救助者がいる地域に向かい、救急隊員を案内、救助に協力しました。

4人の協力で、救助がスムーズに進み、けがをした方は命に別状なく、治療できたそうです。

感謝状を手にした3人は「すこしでも早く見つかって良かった。けがした方も回復していると聞き、安心しました」と話していました。

犬伏新町の薬師堂「真田の別れ」



天下分け目の関が原の合戦を前に、真田父子3人(昌幸、信幸、幸村)が、東軍と西軍に分かれて戦うことを決断した密議の場所だと伝承されている薬師堂が犬伏新町(犬伏新町2060番地2他)にあります。NHK大河ドラマ「真田丸」の中でも紹介されるかもしれません。

消防出初式で「はしご乗り」を披露



17日、佐野市役所南側の県道桐生岩舟線で、消防出初式が行われ、佐野鷹工業組合の皆さんによる「はしご乗り」が披露されました。

高いはしごの上で披露される演技の数々に、沿道の皆さんから歓声と拍手が送られていました。

